

大阪市議会の9、12月定例議会が9日、開会しました。会期は12月9日までの92日間です。橋下徹市長は、反対派を排除して「維新の会」だけで作った「大阪都」構想の「協定書」を会期中に提案する見通しです。

大阪市議会開会

市長提案見通し

橋下市長は同日、民間人校長が相次いで不

祥事を起こしている校長公募の関連経費（外部面接官の報償金）100万円、地下鉄民営化に向けた準備会社の設立に伴う出資（4000万円）、家庭系ごみ収集輸送の民間委託化に向けた準備費（4000万円）などを盛り込んだ補正予算案と、公営・準公営企業決算などを議会に提案しました。校長公募制度について

ては5月27日の市議会で本会議で関連経費（約2800万円）を削除する修正案を可決し、（再議で30日に否決）

「原則公募」を「公募できる」と改める条例改正案も可決しました（再議で30日に否決）。議になっています。

市民施策後退許さぬ

よくする会と市対連が宣伝

大阪市議会が開会した9日、大阪市をよくする会と大阪対策連

は同市北区の淀屋橋で宣伝しました。44人が参加し、ピラを配りました。

よくする会の福井朗事務局長は、「大阪都」構想の害悪を防災の面

府・市立大の拙速な統合やめて

市長に署名1万超提出

考える会

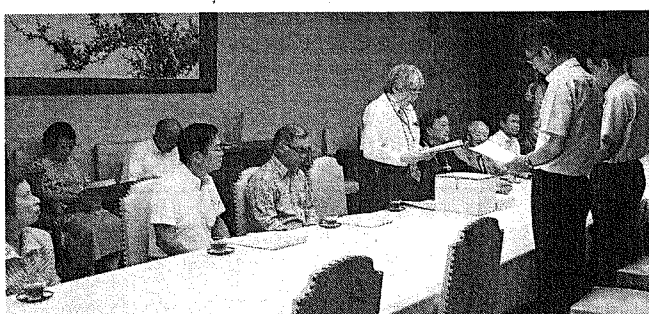
「橋下徹大阪市長らが進める大阪府立大学と大阪市立大学の拙速な統合はやめて」と運動する大阪府立大学問題を考える会と大阪市立大学の統合問題を考える会は9日、両大学の拙速な統合中止を求め橋下市長に対する1万903人分（第1次分）の署名を提出しました。

大阪市（右）に署名を提出し、要請する参加者＝9日、大阪役所

「統合」は、橋下・「維新の会」が「大阪都」構想と一体に「二重行政のムダをなくす」として推進してきたもの。

日本共産党の井上浩市議が同席、松本高秋市政政策企画室秘書部長が応対しました。

市大の統合問題を考える会の聖城雅夫世話人が要請書を手渡し、「大学の財源やた定校舎など具体化されないまま



ますすめられている。拙速な統合は撤回すべきだ」と要請しました。参加者は「統合は一見合理的に見えるが、両大学は住み

分けができていない」「橋下市長は大学の文系学部は大阪の役に立っていないと言っているが、歴代の卒業生は大阪に貢献している」「不景気のか公立大学が少なくなるのは困る」などの声をあげました。

その後、参加者は、「維新の会」に両大学の統合をやめるよう求める要請書を、「維新」以外の自民、公明、民主系、共産の各会派に反対の立場を堅持するよう求める要請書をそれぞれ提出しました。

同日、一行は松井一郎府知事に対する1万1000人分の署名を提出し、同様の要請を行いました。



「大阪府解体NO!」のピラを配る参加者（左）＝9日、大阪市

から指摘。南海トラフ地震での津波を例に、市を解体し、分割された特別区単体では税収に差が生まれ、十分な対策ができない地域もでてくる」として「大阪市は地下街や地下鉄が多く、水に弱い。市こそって対策を立てなければならぬ」と語りました。

8人が「敬老バスの負担増に高齢者は怒っている。市バスは28億円の黒字というが、市民に不便を押しつけて

黒字なんて行政のやることではない」（年金者組合）、「市民病院跡地への民間病院誘致の公募条件引き下げは許されない。民間が困難ならば公営で現地建て替えを（住吉市民病院を充実させる市民の会）などと訴えました。

日本共産党の小原孝志市議がマイクを持ち、野党会派を排して「都構想の設計図（協定書）づくりを強行した橋下・「維新の会」の「議会制民主主義を無視したやり方は絶対に許されない」と批判。「橋下市政になってから市民施策は後退している。市民の声を市政に反映させるため全力を尽くす」と述べました。